

ROOFS

建設やメンテナンスのために屋根やテラスで作業する場合は、滑って屋根の端から落ちたり、構造物の表面を突き破ったりする危険性が伴います。ワークポジショニングと墜落防止の両方のための一連の安全システムを組み合わせて、各アクティビティと構造の種類に最適なソリューションを得ることができます。

図16 - 屋根およびテラスでは、水平アンカーライン（恒久的または一時的）または個別のアンカーポイントを使用できます。作業中の移動性と安全性を確保するために、墜落制止装置を備えたアンカーに取り付けられたロープを使用できます。作業者は自由に動くことができ、転倒時にはデバイスが作動して墜落を制止します（図16a）。

墜落の可能性があり、振り子や揺れの可能性がある屋根/テラスの横端付近（図16c-d）では、落下防止ロープ（図16b）または追加のアンカーにディビエーションアンカーを使用する必要があります。セーフティランヤードは、危険な振り子や揺れを防ぐ位置にあるアンカーポイントに接続する必要があります。

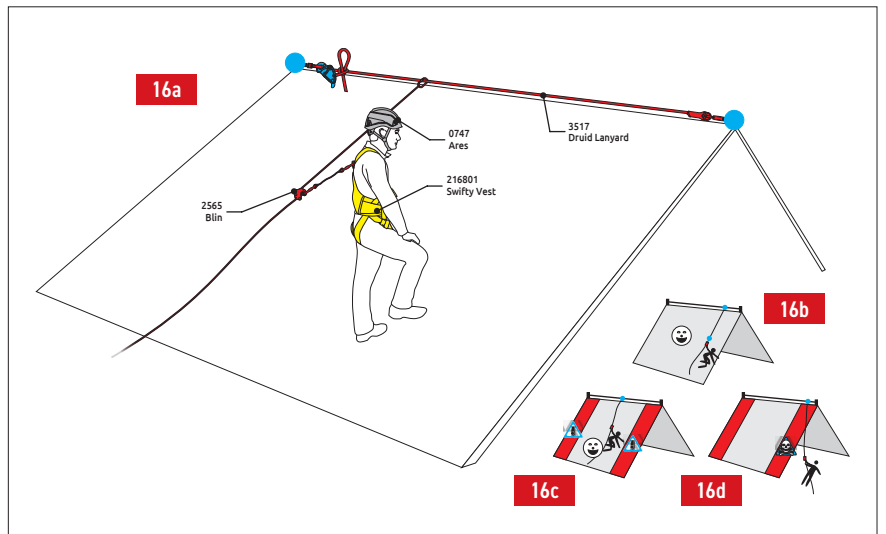


図17 - 格納式墜落防止装置を正しく使用すると、屋根やテラスで作業する際に最適な動きの自由と安全性が得られます。オペレーターのハーネスと認定された装置ケーブルの間に配置されたエネルギー吸収装置を備えた格納式墜落防止装置を使用する必要があります。特に、屋根またはテラスの端から落下した場合にケーブルが切断されるのを防ぐために使用されます（図17a）。

横端付近での作業中は、振り子や揺れにより落下する危険性もあります（図17c-d）。この場合、格納式装置は、追加の固定ライン（図17b）に接続するか、振り子や揺れを防ぐように設計された端に適切に準備された固定点に接続できるエネルギー吸収装置付きのランヤードと組み合わせる必要があります。

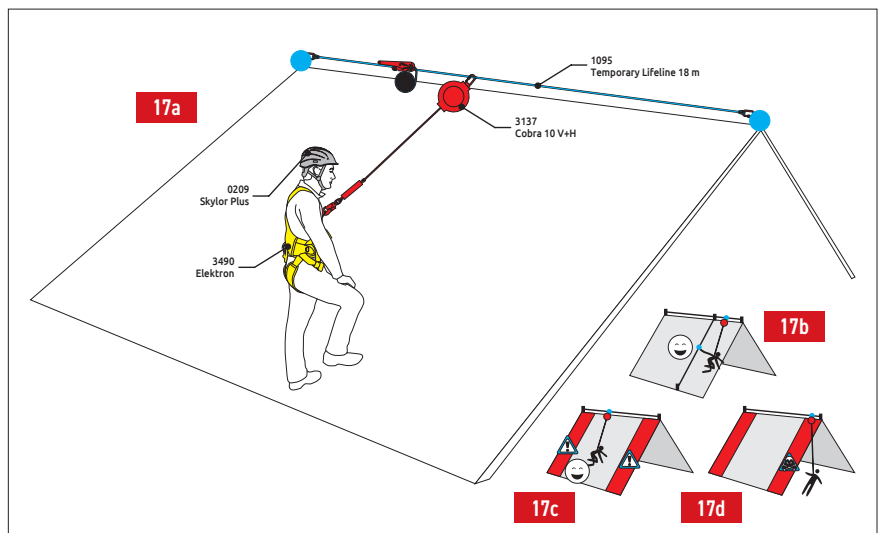


図18 - 場合によっては、調整可能なポジショニングランヤードを使用することで、作業者がデバイスにテンションを加えた状態に保つことができます（図18a）。調整可能なポジショニングランヤードは墜落制止という重要な機能を実行しないため、ポジショニングランヤードが作業者が屋根の端（図18b）や保護の端に到達するのを防ぐ長さになるような拘束技術を使用する必要があります。屋根の端での落下の可能性を防ぐための装置を提供する必要があります（図18c）。落下の危険が続く場合は、落下防止システムと作業位置決めランヤードを組み合わせることが不可欠です（図18d）。

